

猫に助けられた!

松本市 小山末子

我が家を襲ったのは不況が続く中、経営していた会社の倒産でした。あらゆる所からのひっきりなしの電話と訪問者で、長い間落ち着かない毎日でした。足が地に着かない日々で、主人はすっかり心まで病んでしまいました。数十ヶ月の暗い暮らしの中で昔を振り返ると、お人好しで気の良い主人と私は夢中で働いてきました。主人の親と叔母が引いた道を、親戚・縁者の面倒も引き受けながら周囲から圧されるままに突き進んできた感じです。パブルの頃は景気も良く、群がる親戚や知人が集まるたびに賑やかに豪華な食事を囲み、みんなですっかり食い尽くしてしまったような気がしています。そのころ出入りしていた人たちは病に伏したり姿を消し、家を無くした私たち二人が残りました。

そんな日々にも必ず猫が出入りして、私たちの周りに潤いを与えてくれていました。主人は「いい加減にしろよ!」と餌をやる私を咎めましたが、私は主人の顔色を伺いながら猫を可愛がっていました。その頃は毎朝、公園の餌やりが日課で、飼っていた老犬も猫たちと大の仲良しでした。私にしたら、嫁いできて周りに振り回されて、自分が無いような毎日ですから、こうした和やかな時間は本当に楽しい時間です。時には捨て猫があり、病んでいる猫があり、雨でずぶ濡れになりながらも餌を待っている猫の顔を思い出し足を運ぶ毎日でした。本当に寒い日はマイナス14度にもなり、愛犬の背中から立ち上がる湯気や凍傷で縮れてしまった黒ネコの耳を見たときに



は胸が熱くなり、手袋を脱いでかじかむ手で夢中で餌鉢を拭いて、暖めてきた茹で肉を盛りつけて食べさせたものです。

主人は犬も猫も決して嫌いではなく、むしろ可愛がっていましたが、家の周りにかかる猫たちに惜しげもなく餌をやることをあまり快く思っていなかったのです。仕事が無くなり、生活費の心配が出始めたときに、「ねこの会」の方に紹介され、ペット霊園も運営する会社に就職が決まりました。事情をくんでくれている社長は雇用条件も考えてくれて本当に救われた思いでした。主人が通勤し始めて数日した時に「今度は猫に救われたな」と言いました。それから主人は猫の事でとがめ立てすることは無くなりました。本当に猫に救われたと思っているのでしょうか? こうしてまた二人、夢中で働く日々に戻りました。

今年の春に長年住み慣れた家を出ることになり、この家も未練がないとは言いませんが、すっかりあきらめがつきました。精一杯投資した立派な家も家具も、みんな思い出に代わって新しい家に移りました。ようやく慣れてきた新居で痩せた親子ネコが勝手口に来るようになりました。近くの団地にたくさん置き去り猫が居ると聞きます。そんな猫かもしれないと思いながら新たな餌やりが始まりました。

「絶対やるなよ」と主人が言います。生活が落ち着いて吹っ切れたのでしょうか。喉元過ぎればとは主人のことで、あの感謝の思いは何処へやらです。先日捕獲器で母猫の手術をしました。数日警戒して母猫は来ませんでした。一週間もすると骨と皮の痩せた体で現れ、勝手口で大鳴きして待っていました。ところが、主人は来なくて心配していたようで、「絶対やるな!」と言った手前、私に隠れるように母猫に餌を運んでいます。

苦労が続いて心を病み、自分を亡くしてしまったのではと案じていましたが、昔のお人好しで気の良い主人が戻ってきました。本当に猫に救われたことは忘れていないようです。

平成21年度 「ねこの会」 会計報告 (単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	¥ 16,887	事務費	¥ 48,296 コピー代、通信費
会費・寄付金	¥ 553,128	備品費	¥ 71,309 捕獲器、大型ペンチ、プリンター
収益	¥ 42,454	運搬交通費	¥ 248,568 運送料、調査等移動、有料道路使用料
利子	¥ 61	接待交際費	¥ 158,843 病院・展示場・地主への御礼
小計	¥ 612,530	活動費	¥ 52,877 新聞・案内等印刷、シェルター管理
		雑費	¥ 9,991 プラケース、ファイル、殺虫剤、地図
		小計	¥ 589,884
(収支)	¥ 612,530	—	¥ 589,884 = (残高) ¥ 22,646

※上記金額の他に中島塗装店様より毎月7000円相当の餌の寄付を頂いております

